

報道関係 各位

広島経済大学  
入試広報センター

## 対馬丸乗船 遭難学童の慰霊祭のお知らせ

広島経済大学（学長 小谷 幸生）岡本ゼミナール<sup>(注1)</sup>では、下記の日程で対馬丸乗船 遭難学童の慰霊祭を企画実施します。この慰霊祭はできるだけ多くの本土の方に、沖縄戦のこと、対馬丸遭難のことを知っていただけるように、またお話しの内容も小学生にもわかりやすいように、と準備をしています。

昭和 19 年、沖縄が戦場になるとの予測のもと、沖縄の小学生を九州各地に疎開させる指示が出されました。そのため沖縄本島の各小学校から学童が集められ、8 月 21 日夕刻、那覇港から 3 隻の輸送船が出港しました。そのうちの 1 隻「対馬丸」は 22 日夜、アメリカ軍潜水艦の雷撃によって沈没し、約 750 名の学童が亡くなりました。戦後、沖縄に対馬丸記念館が設立され、小桜の塔で慰霊祭が行われています。

そして、広島の陸軍墓地には、船舶砲兵の慰霊碑の前に設置されている銘板に「対馬丸乗船 沖縄疎开学童之霊」と記されていることが確認されました。これは対馬丸に乗船していた砲兵で、唯一戦後まで生き残られた、吉田 董夫氏を中心となって刻されたものと思われませんが、船舶砲兵の遺族、戦友たちは、戦友の慰霊と共に、船舶砲兵の義務であった輸送船を守ることができず、亡くなってしまった学童の慰霊をずっと行ってこられました。このことにちなみ、対馬丸乗船学童の慰霊祭を関係各位のご賛同を得て、今回実施いたします。

つきましては、下記のとおりお知らせいたしますので、ぜひ取材していただきますよう、よろしくお願いいたします。

<sup>(注1)</sup> 岡本ゼミナールは、平成 19 年から沖縄戦跡巡礼を毎年実施。食事は当時の状況を体験するため 3 日間カロリーメイトとポカリスエットと水だけで過ごし、すべて徒歩で巡礼。平成 30 年で 12 回目を迎え、戦争証言の記録を過去に 7 冊刊行。最新刊は平成 30 年 6 月 23 日に刊行した。

### 記

日 時：平成 30 年 8 月 22 日（水） 11：00 より

場 所：比治山陸軍墓地内 船舶砲兵慰霊碑 前（広島市南区比治山公園 5-3）

式次第：1. 開式の辞            2. 関係者挨拶            3. 黙祷

4. 慰霊の手旗信号 <呉海洋少年団> \*豪雨災害のため実施未定 実施が確定しました

5. 献歌 月桃の歌 <折河 宏治氏/エリザベト音楽大学 准教授>

6. 沖縄戦と対馬丸のお話し <渡辺 徹子氏/沖縄戦遺族・元小学校長>

7. 閉式の辞 <岡本 貞雄/本学 教授>

（雨天中止 少雨決行）

以 上

※お問い合わせ、取材のご用向きは事前に以下までご一報くださいますよう、お願い申し上げます。

（記事の内容について）本学教授 岡本 貞雄 電話（082）871-1476（研究室直通） 携帯電話 090-7975-4465

（取材の依頼について）入試広報センター 山本・足立・住本・高田・藤永 電話（082）871-1313